

恒例企画 九州・沖縄の将来を担うキーパーソンが語る2019年

2019 JAN.

MONTHLY MAGAZINE

おかげさまで
since 1958

61年

財界九州 1

Since 1958. 九州・沖縄の「時流」を知る総合情報誌

No.1132

New Year top interview special



九州経済連合会会長
麻生 泰氏



九州地方知事会会長
広瀬 勝貞氏



九州商工会議所連合会会長
藤永 憲一氏



九州市長会会長
森 博幸氏



九州経済同友会 代表委員
貫 正義氏



九州大学 総長
久保 千春氏

2019年 展望
九州・沖縄

首 長 選 小川県政に「NG」の自民県議団
トップ人事 (経済団体) 九経連は麻生会長「4期目」濃厚
消費増税 反動減を警戒も影響「限定的」か
九州新幹線 (西九州ルート) 一枚岩の「北陸新幹線」が先行も
観 光 期待高まる「ラグビーW杯効果」
銀 行 信託など「新規事業」で局面打開

エネルギー 「住宅用太陽光」のFIT終了へ
農 業 事業拡大に向け「自己改革」本番
外国人就労 「入管法改正」は人手不足補うか
働き方改革 「対応苦慮」する中小企業が続出
沖 縄 玉城知事に問われる「現実対応」

<http://www.kyushu01.com>

Nakayama Mineo

中山 峰男

崇城大学 学長

KYUSHU
OKINAWA
TOP
FILE

2019

九州・沖縄を担うトップ群像

「『SoLA』オープンで創造的復興が加速」

MEMO

- 1947年9月22日生まれ
- 熊本市出身
- 熊本大工学部卒

積水化学工業勤務を経て80年崇城大に転じ、2003年12月、同大や同大学専門学校からなる君が淵学園の理事長・学長。日本私立大学協会の九州支部長も務める。趣味のゴルフでは、ドライバーのロフト角を見直して新調し手応え。「今後のラウンドが楽しみだ」と目を細める。

2018年は、熊本地震で被災したキャンパス機能などを復興させる1年だった。3月に外国人講師が常駐する英語学習施設「SILC（シルク）」を建て替えた。3階建てを4階建てとし、1階には、スタイリッシュな「SILC CAFE」をオープン。2階は自律学習センター「SALC（サルク）」とし、拠点性を高めた。また、9月にはアクティブラーニング（能動的学習）の拠点となる「SoLA（ソーラ）」が完工した。開放的なフードコートや大講義室を備えた3階建て施設で、グループワークやディスカッション、体験学習などの拠点となる。

19年はこれら再整備した施設の機能を生かし、震災からの創造的復興が加速する。九州では先駆的に取り組んできた起業家教育では、本学の学生ベンチャーで、球磨焼酎粕^{かす}を使い光合成細菌を培養するビジネスで文部科学大臣賞を受賞するなどしている株式会社Ciamo（シアモ）に続く起業に期待している。本学独自のファンドで後押ししているので、そのチャンスを他の学生にもつかんでほしい。新施設は「学生の心に火をつける」場として活用されるよう努めたい。